

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】平成28年9月1日(2016.9.1)

【公開番号】特開2016-8625(P2016-8625A)

【公開日】平成28年1月18日(2016.1.18)

【年通号数】公開・登録公報2016-004

【出願番号】特願2014-128018(P2014-128018)

【国際特許分類】

F 15 B 11/028 (2006.01)

F 15 B 11/00 (2006.01)

F 15 B 11/05 (2006.01)

E 02 F 9/22 (2006.01)

【F I】

F 15 B 11/02 P

F 15 B 11/00 M

F 15 B 11/05 A

E 02 F 9/22 L

【手続補正書】

【提出日】平成28年7月14日(2016.7.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0043

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0043】

アンロード弁15は、閉方向作動側に原動機回転数検出弁13から出力された絶対圧PGR(目標LS差圧)が導かれる受圧部15aを有し、かつ同じ閉方向作動側にバネ15bが配置されている。また、アンロード弁15は、開方向作動側に圧油供給路5の圧力(メインポンプ2の吐出圧)Ppが印加され、閉方向作動側に最高負荷圧検出回路9によって検出された最高負荷圧PImaxが印加される構成となっている。アンロード弁15のセット圧は、絶対圧PGR(目標LS差圧)とバネ15bの付勢力と最高負荷圧PImaxとによって規定される。すなわち、アンロード弁15のセット圧は、絶対圧PGR(目標LS差圧)とバネ15bの付勢力の圧力換算値と最高負荷圧PImaxとを加算した圧力として与えられ、メインポンプ2の吐出圧Ppがアンロード弁15のセット圧よりも高くなるとアンロード弁15は開状態になって圧油供給路5の圧油をタンクに戻すよう動作し、これによりメインポンプ2の吐出圧Ppが目標LS差圧PGRにバネ15bの付勢力の圧力換算値を加算した圧力よりも高くならないように制御される。バネ15bの付勢力の圧力換算値は通常目標LS差圧PGRよりも小さい値である。